



リアルタイム翻訳ツール ブラウザ版

ユーザーマニュアル

目次

はじめに.....	3
用語集.....	3
音声認識言語とテキスト翻訳言語.....	4
リアルタイム翻訳ツールについて	5
製品の概略図.....	5
製品利用時の注意事項	6
注意事項.....	6
システム要件/ハードウェア要件	7
システム要件	7
ハードウェア要件.....	7
リアルタイム翻訳ツール 利用方法	8
ログイン方法	8
新規にチャットルームを作成し、マイクを有効にする方法.....	9
同じチャットルームに参加する方法 (契約ライセンスを持っているユーザーの場合).....	10
同じチャットルームに参加する方法 (契約ライセンスを持っていないゲストユーザーを招待する場合).....	12
利用するマイクを切り替える方法.....	15
チャットルームで発話・翻訳内容を CSV ログとしてダウンロードする方法.....	16
サーバー上に保存した履歴を参照する方法	18
サーバー上に保存した履歴を再編集・削除する方法	19
サーバー上に保存した発話履歴をダウンロードする方法.....	20
サーバー上に保存した発話履歴をダウンロードした CSV ファイルについて.....	21
画面構成について.....	22
リアルタイム翻訳ツールを利用する際のポイント	28

はじめに

本書は、リアルタイム翻訳ツール ブラウザー版(以下、リアルタイム翻訳ツール) のシステム要件、使用方法について解説したユーザーマニュアルです。

用語集

用語	説明
Microsoft Teams	マイクロソフト社が提供するクラウドコンピューティング型のサービス。 Web 会議、インスタントメッセージング、インターネット電話が行えるだけでなく、コンテンツやツールなどが集約されているチーム コラボレーションのハブです。 Microsoft Office 365 ブランドで提供されるオンラインサービスの一部。
Skype for Business	マイクロソフト社が提供するクラウドコンピューティング型のサービス。 Web 会議、インスタントメッセージング、インターネット電話が行える。 Microsoft Office 365 ブランドで提供されるオンラインサービスの一部。
Zoom	Zoom Video Communications 社が提供する Web 会議システム。Web 会議、インスタントメッセージング、インターネット電話が行える。
Cisco Webex	Cisco 社が提供する Web 会議システム。
Cognitive Services	マイクロソフトが提供している AI のアルゴリズム。 視覚認識、音声認識、言語理解、知識、検索などの様々なサービスを提供している。
Web 会議ツール	Microsoft Teams、Skype for Business、Zoom、Cisco Webex などの総称。

音声認識言語とテキスト翻訳言語

リアルタイム翻訳ツールでは、音声認識できる言語数とテキスト翻訳できる言語数は以下となる(2020年12月21日時点)。

※対応言語数は、マイクロソフト社で増加されたタイミングで随時対応していく予定です。

[音声認識できる対象言語(82言語)]

Arabic (Bahrain), modern standard	Arabic (Egypt)	Arabic (Iraq)	Arabic (Jordan)	Arabic (Kuwait)	Arabic (Lebanon)	Arabic (Oman)	Arabic (Qatar)
Arabic (Saudi Arabia)	Arabic (Syria)	Arabic (United Arab Emirates)	Bulgarian (Bulgaria)	Catalan (Spain)	Chinese (Cantonese, Traditional)	Chinese (Mandarin, Simplified)	Chinese (Taiwanese Mandarin)
Croatian (Croatia)	Czech (Czech Republic)	Danish (Denmark)	Dutch (Netherlands)	English (Australia)	English (Canada)	English (Hong Kong)	English (India)
English (Ireland)	English (New Zealand)	English (Philippines)	English (Singapore)	English (South Africa)	English (United Kingdom)	English (United States)	Estonian (Estonia)
Finnish (Finland)	French (Canada)	French (France)	German (Germany)	Greek (Greece)	Gujarati (Indian)	Hindi (India)	Hungarian (Hungary)
Irish (Ireland)	Italian (Italy)	Japanese (Japan)	Korean (Korea)	Latvian (Latvia)	Lithuanian (Lithuania)	Maltese (Malta)	Marathi (India)
Norwegian (Bokmål) (Norway)	Polish (Poland)	Portuguese (Brazil)	Portuguese (Portugal)	Romanian (Romania)	Russian (Russia)	Slovak (Slovakia)	Slovenian (Slovenia)
Spanish (Argentina)	Spanish (Bolivia)	Spanish (Chile)	Spanish (Colombia)	Spanish (Costa Rica)	Spanish (Cuba)	Spanish (Dominican Republic)	Spanish (Ecuador)
Spanish (El Salvador)	Spanish (Guatemala)	Spanish (Honduras)	Spanish (Mexico)	Spanish (Nicaragua)	Spanish (Panama)	Spanish (Paraguay)	Spanish (Peru)
Spanish (Puerto Rico)	Spanish (Spain)	Spanish (Uruguay)	Spanish (USA)	Spanish (Venezuela)	Swedish (Sweden)	Tamil (India)	Telugu (India)
Thai (Thailand)	Turkish (Turkey)						

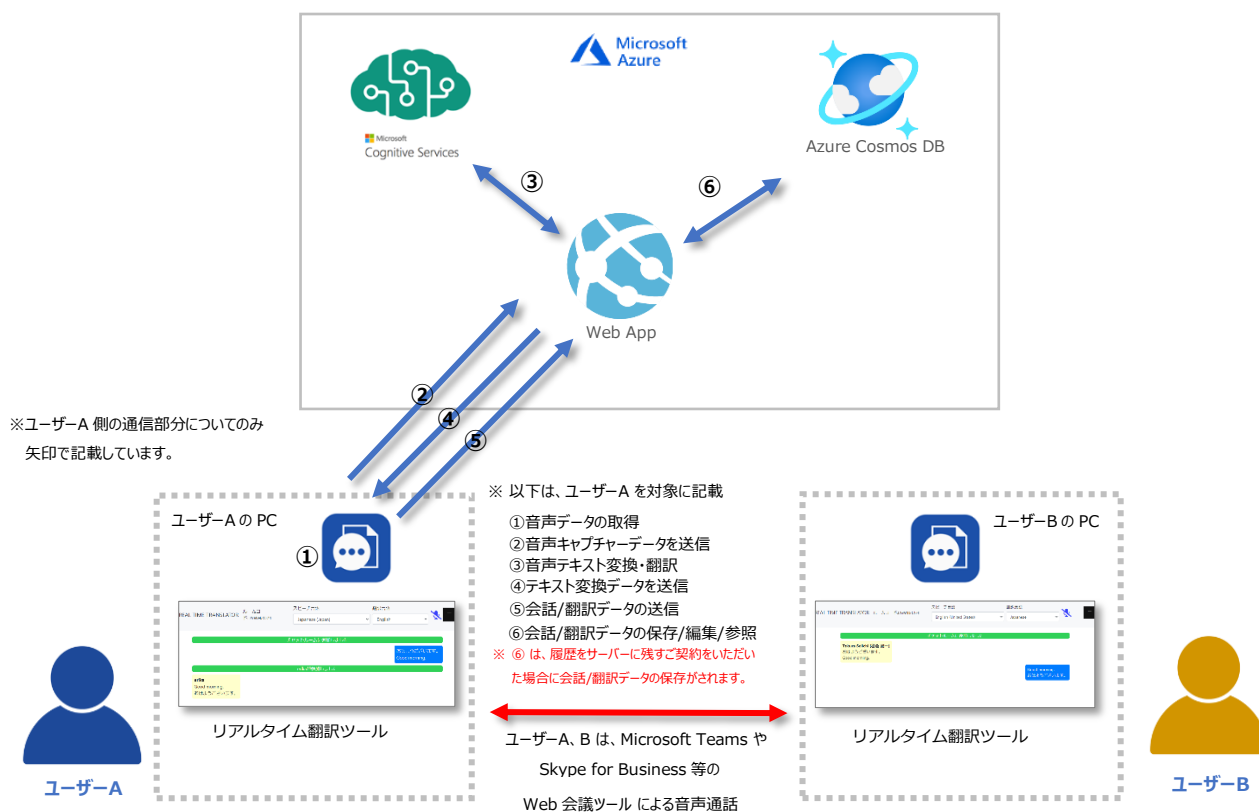
[テキスト翻訳できる対象言語(79言語)]

Afrikaans	Arabic	Assamese	Bangla	Bosnian (Latin)	Bulgarian	Cantonese (Traditional)	Catalan
Chinese Simplified	Chinese Traditional	Croatian	Czech	Danish	Dari	Dutch	English
Estonian	Fijian	Filipino	Finnish	French	French (Canada)	German	Greek
Gujarati	Haitian Creole	Hebrew	Hindi	Hmong Daw	Hungarian	Icelandic	Indonesian
Irish	Italian	Japanese	Kannada	Kazakh	Klingon	Korean	Kurdish (Central)
Kurdish (Northern)	Latvian	Lithuanian	Malagasy	Malay	Malayalam	Maltese	Maori
Marathi	Norwegian	Odia	Pashto	Persian	Polish	Portuguese (Brazil)	Portuguese (Portugal)
Punjabi	Queretaro Otomi	Romanian	Russian	Samoan	Serbian (Cyrillic)	Serbian (Latin)	Slovak
Slovenian	Spanish	Swahili	Swedish	Tahitian	Tamil	Telugu	Thai
Tongan	Turkish	Ukrainian	Urdu	Vietnamese	Welsh	Yucatec Maya	

リアルタイム翻訳ツールについて

リアルタイム翻訳ツールは、Web 会議または対面会議の音声データを音声認識技術でリアルタイムにテキスト翻訳することができる Web アプリケーションです。この Web アプリケーションを利用してコミュニケーションする事で、ユーザーは利用言語の異なる参加者との会議を円滑に進めることが可能になります。また、話した内容やテキスト翻訳した内容は、チャットルームから CSV ファイルのダウンロードが可能です。


製品の概略図



製品利用時の注意事項

注意事項

リアルタイム翻訳ツールを利用する際の注意点を以下に記載します。

- リアルタイム翻訳ツールを利用する前にヘッドセット、HDMI などのハードウェアを接続した状態にしてください。
リアルタイム翻訳ツールの利用中に利用しているヘッドセット や HDMI のケーブルの抜き差しを行うと正常に動作いたしません。
- ヘッドセットは、USB 接続など有線で接続するデバイスをご利用いただくことを推奨しています。
Bluetooth 接続などの無線のデバイスを利用された場合、正しく発話内容を認識しない場合があります。
- インターネットは安定した環境でご利用ください。
リアルタイム翻訳ツールのご利用中に Wi-Fi の切り替えはしないでください。
- クリアに音声を認識できるマイクをご利用ください。(参考:「動作確認済みヘッドセット」)
スピーカーフォンなど複数の利用者の音声を拾えるデバイスを利用した場合、複数の利用者の声や周りの雑音を拾い音声認識や翻訳精度に影響が出る場合があります。
- リアルタイム翻訳ツールが翻訳中の状態の時は、Microsoft Teams、Skype for Business で会話していない時でもテキスト翻訳の処理が行われ、[チャットルーム] ウィンドウに話した内容が表示されます。
テキスト翻訳が必要ない場合は、リアルタイム翻訳ツールを翻訳一時停止状態()にしてください。
※詳細は、“画面構成について”を参照ください。
- Web 会議ツール側でコミュニケーションを終了しても、リアルタイム翻訳ツールは自動では終了いたしません。
- リアルタイム翻訳ツールを終了する場合は、[Exit] ボタン、もしくはブラウザの [×] ボタンをクリックしリアルタイム翻訳ツールを終了してください。
- チャットルームに参加された後、発話をされていない（文字起こしや翻訳がされていない）場合でも、従量課金が発生いたしますのでご注意ください。システム音や雑音などの音声は、文字起こし・翻訳対象外ですが 音声認識・翻訳サービス(*1)への通信が発生しているためとなります。
翻訳が不要な場合は、[翻訳の一時停止] ボタンをクリックし以下の状態になるようにしてください。



また、会議終了などリアルタイム翻訳ツールを利用しない場合は、必ずチャットルームから退出 (Exit) ボタンをクリックし、リアルタイム翻訳ツールを完全に終了してください。

*1: 音声認識・翻訳サービスとは Microsoft Cognitive Services を示す。

システム要件/ハードウェア要件

リアルタイム翻訳ツールを利用するためのシステム要件 および ハードウェア要件について説明します。

システム要件

- オペレーティングシステム
 - Windows 10
 - Windows 8.1
 - Mac OS X (10.14 以降)
- ブラウザー
以下のブラウザーのいずれかが既定のブラウザーに設定し、ブラウザーからマイクへのアクセスが許可されている必要があります。
 - Microsoft Edge (Chromium)
 - Google Chrome

ハードウェア要件

- 利用デバイス
オペレーティングシステム上で正常に利用可能な USB ヘッドセット (例: Jabra Evolve 65、Jabra GN2000 など)が接続されていることを推奨いたします。
その他、Microsoft 社が推奨しているヘッドセットについて以下に紹介いたします。
 - Microsoft Teams デバイス
<https://products.office.com/ja-jp/microsoft-teams/across-devices/devices/category?devicetype=36>
 - Headsets certified for Skype for Business
<https://www.jabra.jp/business/for-your-platform/microsoft/skype-certified-headsets>
 - Recommended headsets (英語)
<https://www.microsoft.com/EN-US/translator/education/recommended-headsets/>

リアルタイム翻訳ツール 利用方法

ログイン方法

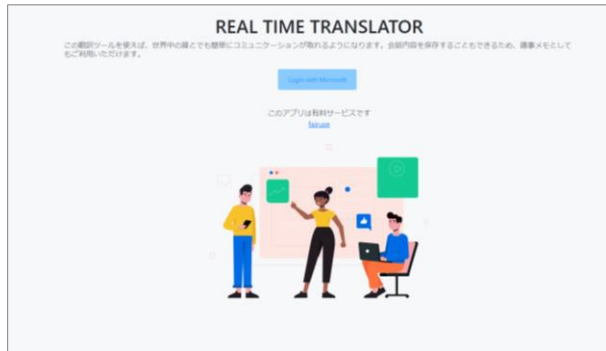
リアルタイム翻訳ツールにログインする方法について説明いたします。

1. ブラウザ(Google Chrome もしくは Edge (Chromium)) を起動し、以下の URL を開きます。

<https://rttforweb.com/>

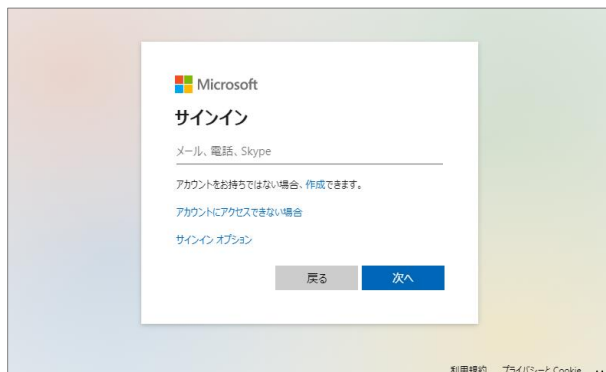
2. [Login with Microsoft] ボタンをクリックします。

※Microsoft 職場アカウントで参加するための画面が表示されます。すでにログインしている場合はこの画面がスキップされる場合があります。



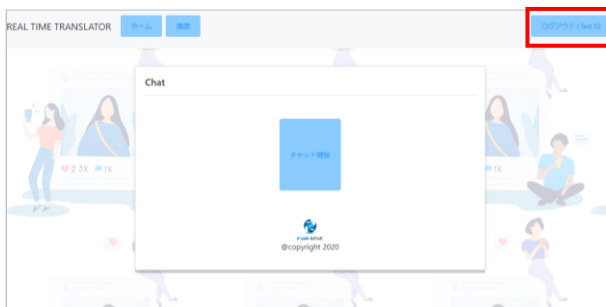
3. パソコン A 側で Microsoft 職場アカウント、パスワードを入力しサインインします。

※すでにログインしている場合は、この画面はスキップされる場合があります。



4. パソコン A 側で 画面右上に Microsoft 職場アカウントの名前が表示されていることを確認します。

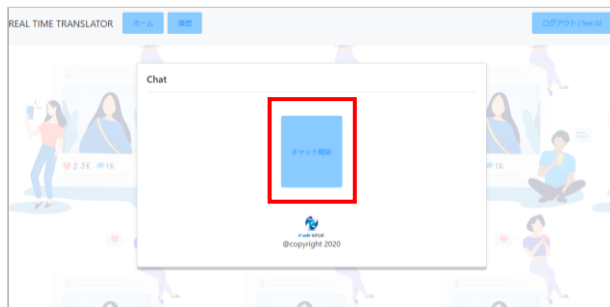
※ 利用したい Microsoft 職場アカウントが表示されていない場合は、画面右上にある [ログアウト] をクリック後に <https://rttforweb.com/login/logout/> を開き、再度 手順 2 から実施しなおしてください。



新規にチャットルームを作成し、マイクを有効にする方法

新規にチャットルームを作成し、マイクを有効にする方法について説明いたします。

1. リアルタイム翻訳ツールを開き、ログインします。
2. [チャット開始] をクリックします。



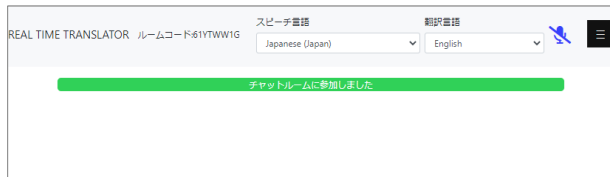
3. [新規作成] をクリックします。



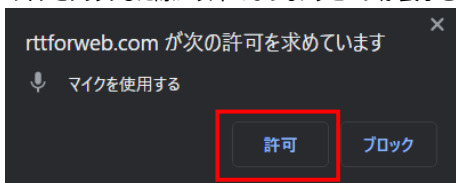
4. [スピーチ言語]、[翻訳言語]、[ルーム名] を設定し、[開始] をクリックします。
※ ルーム名は、空白のままでも開始することが可能です。
※ ルーム名は、履歴機能が利用可能な場合に表示することが可能です。



5. 以下のチャットルーム画面が表示されたことを確認します。



6. 右上にあるマイク(🗣️)をクリックし、マイクが利用可能な状態(🗣️)にします。
※ マイクをクリックした際に以下のようなメッセージが表示された場合は [許可] をクリックしてください。



同じチャットルームに参加する方法 (契約ライセンスを持っているユーザーの場合)

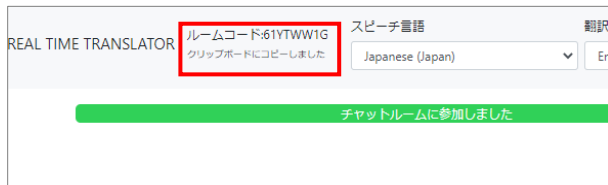
契約ライセンスを持っているユーザー同士が同じチャットルームに参加する方法について説明します。

※ 契約ライセンスを持っているユーザーは、同じテナントに紐づいている Microsoft 職場アカウントである場合に同じチャットルームに参加可能です。

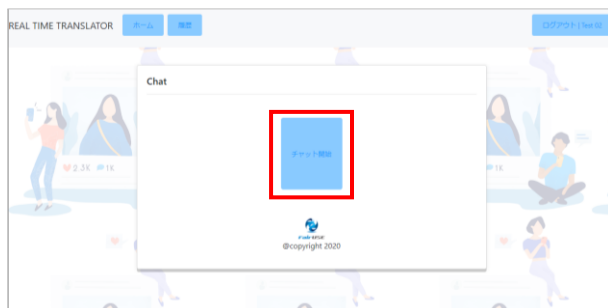
1. 【自分側】新規にチャットルームを作成します。



2. 【自分側】画面左上の“ルームコード: ○○○○”をクリックし、“クリップボードにコピーされました”が表示されたことを確認します。



3. 【自分側】相手の方へ Web 会議ツールのチャットなどを利用してルームコードを共有します。
4. 【相手側】リアルタイム翻訳ツールを開き、“チャット開始”をクリックします。



5. 【相手側】チャットロビーの赤く囲んだ部分に共有されたルームコードを張り付け、[参加] をクリックします。



6. 【相手側】[スピーチ言語]、[翻訳言語] を設定し、[開始] をクリックします。



7. 【相手側】以下のように“チャットルームに参加しました”が表示されたことを確認します。

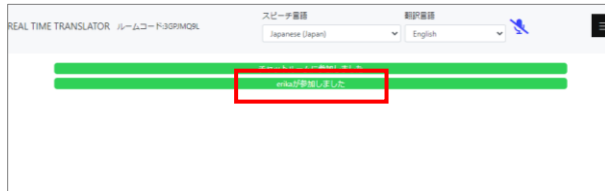


※ 発話した内容を文字起こし、翻訳を行う場合は、右上にあるマイク(🎤)をクリックし、マイクが利用可能な状態(🔊)にします。

※ マイクをクリックした際に以下のようなメッセージが表示された場合は [許可] をクリックしてください。



8. 【自分側】相手側がチャットルームに参加すると相手側の名前で参加した旨のメッセージが表示されます。



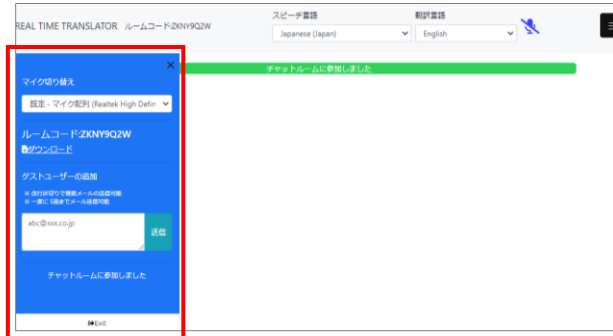
同じチャットルームに参加する方法 (契約ライセンスを持っていないゲストユーザーを招待する場合)

契約ライセンスを持っていないユーザー(例:外部のユーザー)をチャットルームに招待する方法について説明します。

1. 【自分側】新規にチャットルームを作成します。
2. 【自分側】画面右上にある[ハンバーガーメニュー(☰)]をクリックします。



3. 【自分側】画面左側に青い画面が表示されたことを確認します。



4. 【自分側】“ゲストユーザーの追加” のテキストボックスに招待したい方のメールアドレスを入力し、[送信] をクリックします。
※ ゲストユーザーの方へチャットルームに参加するための招待メールが送信されます。

入力例)

ichiro@fairuse.jp

jiro@fairuse.jp

hanako@fairuse.jp



5. 【自分側】招待メールを送信してもよいかどうかの確認メッセージが表示します。メールアドレスに間違いがなければ [OK] をクリックします。

rtt-webdev.com の内容

以下のメールアドレスに招待メールを送信します。間違いなければ OK をクリックしてください。

ichiro@fairuse.jp
jiro@fairuse.jp
hanako@fairuse.jp

6. 【ゲストユーザー側】以下のような件名、送信元から招待メールを受信します。
- 件名 : [Real Time Translator] We will send a meeting request.
 - 送信元 : noreply@fairusepostmail.com; (noreply@fairusepostmail.com: sendgrid.me を経由)
 - メール本文 :

Japanese follows English (英語の後に日本語が続きます)

Dear Guest

(メール送信者メールアドレス) has requested to join the chat room.

Join URL : <https://rttfoweb.com/guest/start-convo>
Room code : MO7RMYESG
Password : gFR7abeJ

To access this URL, please use Google Chrome or Chromium Edge.

Please note that this email has been sent from the Real Time Translator of Fairuse Inc. at the request of (メール送信者メールアドレス).

If you have no idea, please disregard this email.

What is a Real Time Translator : <https://fairuse.jp/translate.html>

This email is delivered with a dedicated address.

ゲスト様

(メール送信者メールアドレス) 様から、チャットルームへの参加依頼が届きました。

参加 URL : <https://rttforweb.com/guest/start-convo>
ルームコード : MO7RMYESG
パスワード : gFR7abeJ

こちらの URL にアクセスする際は、Google Chrome または、Chromium Edge をご利用ください。

なお、本メールは (メール送信者メールアドレス) 様からの依頼に基づき、フェアユース株式会社製品のリアルタイム翻訳ツールよりお送りしております。もしお心当たりのない場合、本メールは破棄して頂けるようお願いいたします。

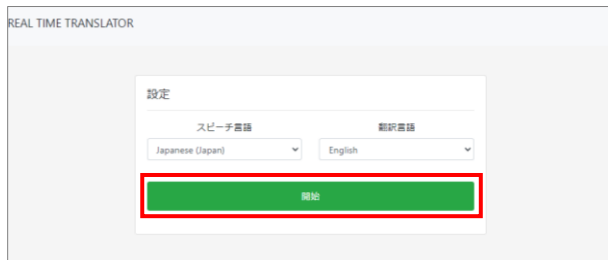
リアルタイム翻訳ツールとは : <https://fairuse.jp/translate.html>

このメールは、配信専用のアドレスで配信されています。

7. 【ゲストユーザー側】以下の Join URL(参加 URL) をブラウザ (Google Chrome もしくは Chromium Edge) で開き、メール本文内に記載されている Room Code(ルームコード) と Password(パスワード) を入力し、[参加] をクリックします。



8. 【ゲストユーザー側】設定画面が表示されましたら [スピーチ言語]、[翻訳言語] を設定し、[開始] をクリックします。



9. 【ゲストユーザー側】以下のようにチャットルームに参加した旨のメッセージが表示されたことを確認します。



10. 【自分側】ゲストユーザーが参加した場合は、以下のようにゲストユーザーが参加した旨のメッセージが表示されたことを確認します。

※ ゲストユーザーとして参加した方はすべてメールアドレスで表示されます。



11. 【ゲストユーザー側】契約ライセンスを持っている全ユーザーがチャットルームから退室するとゲストユーザーは強制的に退室されます。



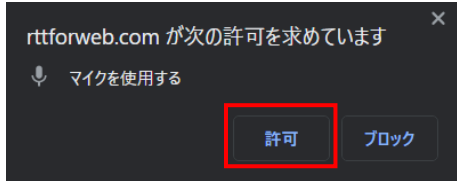
利用するマイクを切り替える方法

リアルタイム翻訳ツールで利用するマイクを切り替える方法について説明いたします。

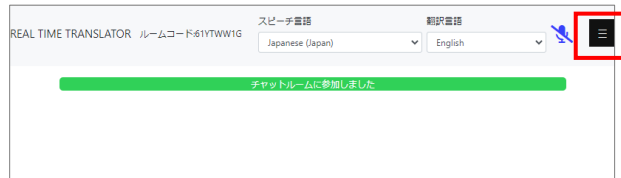
マイクを切り替える際の注意点は以下となります。

- ※ リアルタイム翻訳ツールを起動する前にパソコンにマイクが接続済みの状態にしてください。
リアルタイム翻訳ツールを起動後に接続したマイクを利用することができません。リアルタイム翻訳ツール起動後に接続したマイクを利用されたい場合は、リアルタイム翻訳ツールを起動しなおしてください。
- ※ Windows、MacOS などオペレーティングシステム側で正しく認識されマイクが利用できる状態にしてください。

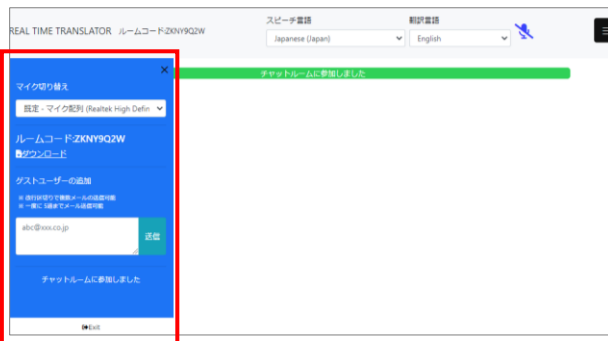
1. チャットルームに参加します。
2. 画面右上にあるマイク(🔊)をクリックし、マイクが利用可能な状態(🔊)にします。
※ マイクをクリックした際に以下のようなメッセージが表示された場合は [許可] をクリックしてください。



3. 再度、右上にあるマイク(🔊)をクリックし、マイクを一時停止状態(🔇)にします。
4. 画面右上にある[ハンバーガーマニュー(☰)]をクリックします。



5. 画面左側に青い画面が表示されたことを確認します。



6. 青い画面の上部にある“マイクの切り替え”の下にあるプルダウンをクリックし、表示されたマイクの中から利用したいマイクをクリックします。



7. 選択したマイクで利用できることを確認します。

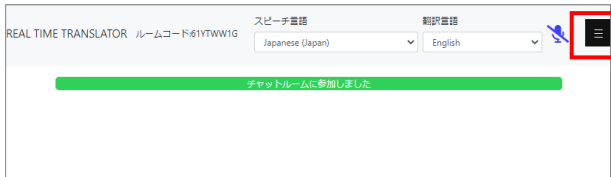
チャットルームで発話・翻訳内容を CSV ログとしてダウンロードする方法

チャットルームで発話、翻訳した内容を CSV ファイルとしてダウンロードする方法について説明いたします。

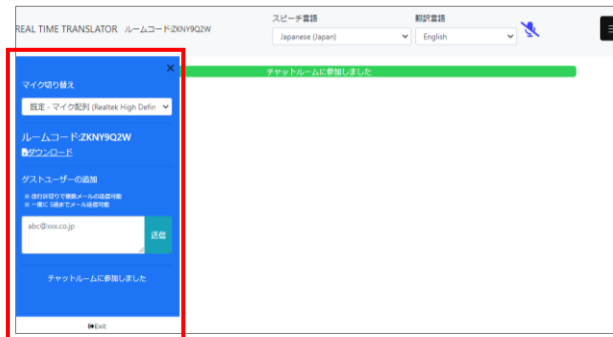
発話、翻訳した内容をログとしてダウンロードする際の注意事項は以下となります。

- ※ ご契約時に履歴を残さない設定を依頼いただいた場合は、チャットルームを閉じる前に必ず CSV ログファイルをダウンロードしてください。
チャットルームを閉じた後に発話、翻訳した内容はログとしてダウンロードすることはできません。
- ※ ゲストユーザーとして参加している場合は、CSV ファイルをダウンロードできません。

1. 【自分側】新規にチャットルームを作成します。
2. 【自分側】画面右上にある[ハンバーガーメニュー(☰)]をクリックします。



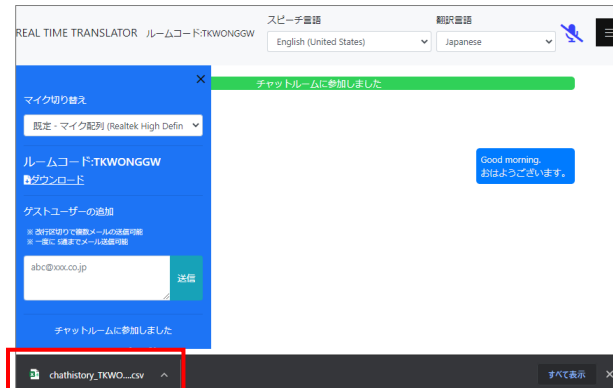
3. 【自分側】画面左側に青い画面が表示されたことを確認します。



4. [ダウンロード] をクリックします。



5. ブラウザーの下方に表示された CSV ファイルをクリックします。



6. パソコンに Excel がインストールされている場合は以下のようにログが表示されます。

sent date	room code	speaker	speaker language	speaker message	transcript language	transcript
2020/12/03T01:36:27	1CXHV743	Tokura Seiichi (徳倉 誠一)	ja-JP	こんにちは	en	Hello.
2020/12/03T01:37:54	1CXHV743	erika	en-US	Hello.	ja	こんにちは。

[CSV ファイルの項目名]

- sent date : 発話日時
- room code : ルームコード名
- speaker : 発話した人の名前 (Microsoft 職場アカウント名)
- speaker language : 発話した人が設定したスピーチ言語
- speaker message : 発話した内容
- transcript language : 翻訳した人が設定した翻訳言語
- transcript : 発話した内容を設定した翻訳言語で翻訳した内容

[CSV ファイルの保存場所]

- Windows 10 の場合 : C:\Users\<ユーザー名>\Downloads
 - Mac OS の場合 : ユーザ/<ユーザー名>/ダウンロード
- ※ 上記はブラウザの規定の場所になります。

[CSV ファイル名]

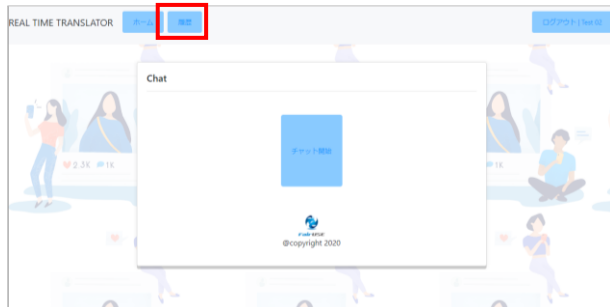
- Chathistory_<ルームコード名>.csv

サーバー上に保存した履歴を参照する方法

サーバー上に履歴を保存する契約をいただいた場合は、発話、翻訳した内容が自動的に保存されるようになり、後日、会話履歴を見直すことができます。

以下に保存した履歴を参照する方法について説明いたします。

1. リアルタイム翻訳ツールを開き、ログインします。
2. [履歴] をクリックします。
 - 履歴を残す契約をいただいていない場合は、[履歴] は表示されません。



3. 履歴画面が表示したことを確認します。
4. 左側の一覧は、チャットルーム単位で表示されます。クリックすると右側に発話内容が表示します。
 - 吹き出しの色が青色は自分の発話内容、青色が相手側の発話内容となります。



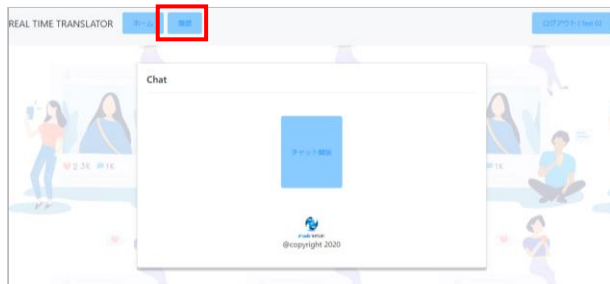
サーバー上に保存した履歴を再編集・削除する方法

サーバー上に履歴を保存する契約をいただいた場合は、サーバー上に保存した履歴の中で誤認識された内容を修正や削除ができるようになります。

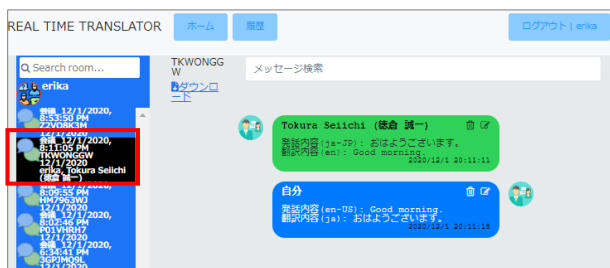
また、修正や削除した内容は、チャットルームに参加されたユーザー(ゲストユーザーを除く)も同じ内容を参照することができるため議事メモをすぐに共有することも可能となります。

以下にサーバー上に保存した履歴を再編集・保存する方法について説明いたします。

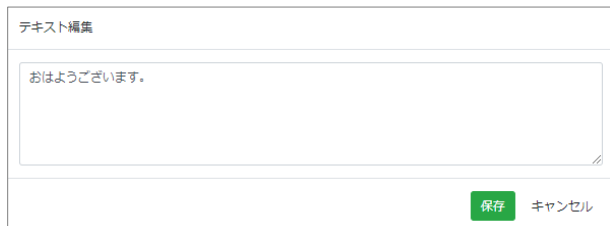
1. リアルタイム翻訳ツールを開き、ログインします。
2. [履歴] をクリックします。
 - 履歴を残す契約をいただいていない場合は、[履歴] は表示されません。



3. 履歴画面が表示したことを確認します。
4. 左側のチャットルームの一覧から編集したいアイテムをクリックします。



5. 発話内容を修正したい場合は、各吹き出しの右上にある修正(✎)をクリックします。
 - 発話した内容を削除したい場合は、各吹き出しの右上にある削除(✖)をクリックしてください。※ チャットルームに参加した全ユーザー(ゲストユーザーを除く)が編集できるため、最後に編集された内容が履歴画面に表示されます。
6. [テキスト編集] 画面に文章が表示されましたら、加筆修正を行い [保存] をクリックします。
 - 加筆修正を行い保存すると吹き出しの右下に表示されている日時も更新されます。



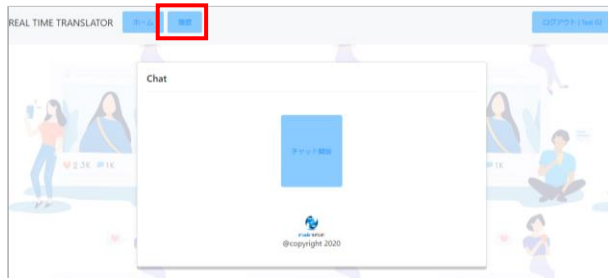
7. 発話内容が更新され、同時に再翻訳されたことを確認します。



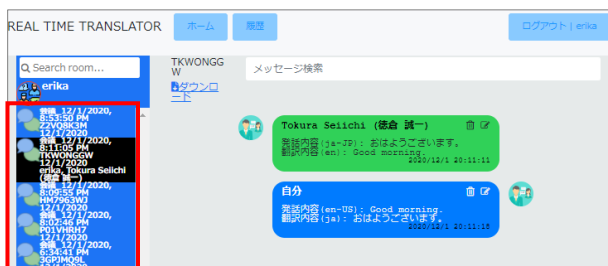
サーバー上に保存した発話履歴をダウンロードする方法

サーバー上に保存した過去の各履歴をダウンロードする方法について説明いたします。

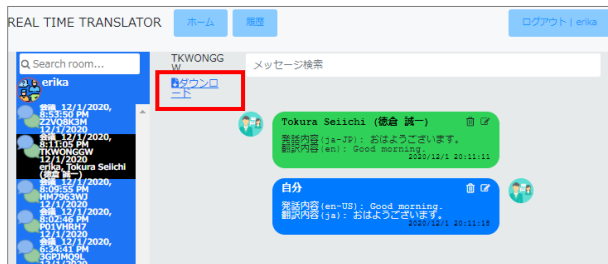
- リアルタイム翻訳ツールを開き、ログインします。
- [履歴] をクリックします。
 - 履歴を残す契約をいただいていない場合は、[履歴] は表示されません。



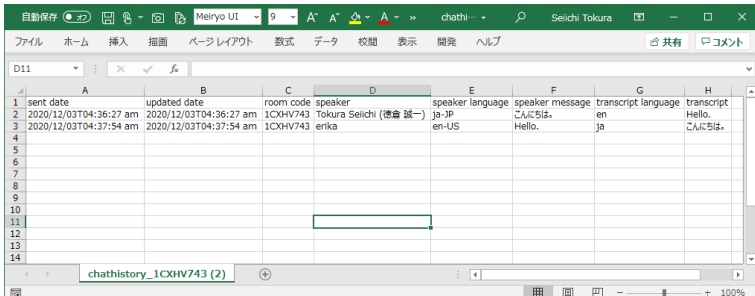
- 履歴画面が表示したことを確認します。
- 左側のチャットルーム一覧から編集したいチャットルームをクリックします。



- 1つのチャットルームを選択すると左上に表示されるチャットコードが表示され、その下にある [ダウンロード] をクリックします。



- パソコンに Excel がインストールされている場合は以下のようにログが表示されます。



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	sent date	updated date	room code	speaker	speaker language	speaker message	transcript language	transcript
2	2020/12/03T04:36:27 am	2020/12/03T04:36:27 am	ICXHW743	Tokura Seichi (徳倉 誠一)	ja-JP	こんにちは。	en	Hello.
3	2020/12/03T04:37:54 am	2020/12/03T04:37:54 am	ICXHW743	erika	en-US	Hello.	ja	こんにちは。
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

サーバー上に保存した発話履歴をダウンロードした CSV ファイルについて

サーバー上に保存した発話履歴はチャットルームからダウンロードできる発話履歴と異なり発話履歴を修正することができます。そのため、サーバー上に保存した発話履歴の項目には、“update date” という項目が追加されています。“sent date” と “update date” が同じ日時である場合は修正がされていないことを確認することができます。以下に CSV ファイルで利用している項目名について説明いたします。

[CSV ファイルの項目名]

- sent date : 発話日時
- updated date : 履歴内容を更新した場合は、その編集した日時が表示されます。
- room code : ルームコード名
- speaker : 発話した人の名前 (Microsoft 職場アカウント名)
- speaker language : 発話した人が設定したスピーチ言語
- speaker message : 発話した内容
- transcript language : 翻訳した人が設定した翻訳言語
- transcript : 発話した内容を設定した翻訳言語で翻訳した内容

[CSV 保存場所]

- Windows 10 の場合 : C:¥Users¥<ユーザー名>¥Downloads
 - Mac OS の場合 : ユーザ/<ユーザー名>/ダウンロード
- ※ 上記はブラウザの規定の場所になります。

[CSV ファイル名]

- Chathistory_<ルームコード名>.csv

画面構成について

リアルタイム翻訳ツールの各画面の説明をします。

1.画面 (リアルタイム翻訳ツール 起動直後)	説明
	<p>1.1 (Login with Microsoft) : Microsoft の職場アカウントで参加するための画面が表示されます。 初めてログインする場合に表示される画面となります。 一度、ログインした場合は、この画面はスキップされます。</p> <p>※ ライセンス登録されていない職場アカウントでログインした場合は、以下のようなメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">○ “ライセンス登録がされていません。リアルタイム翻訳ツールをお使いになる場合、support@fairuse.jp までご連絡ください。”○ “リクエストを処理することができませんでした。” <p>1.2 (fairuse): 以下の製品説明ページが表示されます。 https://fairuse.jp/translate.html</p>
2.画面 (ログイン後)	説明
	<p>2.1 (ホーム) : ホーム画面に遷移します。</p> <p>2.2 (履歴) : ログインした Microsoft 職場アカウントに紐づいた会話ログを参照することができます。 ※履歴をサーバー上に残すご契約をいただいた場合のみこのボタンが表示されます。</p> <p>2.3 (チャット開始) : チャットロビー画面へ遷移します。</p> <p>2.4 (ログアウト XXXXXXXXXXX) : ログインした Microsoft 職場アカウントの名前を表示します。 ログアウトしたい場合は、ここをクリックします。</p>
3.画面 (チャットロビー)	説明
	<p>3.1 (参加) : 作成済みのチャットルームに参加する場合は、ルームコードを入力して、[参加] ボタンをクリックします。</p> <p>3.2 (新規参加) : 新規にチャットルームを作成する場合にクリックします。</p>

4.画面 (チャットルームの新規作成)

4.1 (スピーチ言語) :

ここをクリックすると翻訳元(音声認識)の言語を設定することができます。チャットルームに参加後でも変更可能です。

4.2 (翻訳言語) :

ここをクリックすると翻訳する言語を設定することができます。チャットルームに参加後でも変更可能です。

4.3 (ルーム名) :

チャットルームの名前(例：会議名など)を入力します。

空白にした場合はチャットルーム名に参加日時が設定されます。

※ルーム名は、履歴機能が利用可能な場合に表示することが可能です。

4.4 (開始) :

チャットルームに参加する場合にクリックします。

5.画面 (作成済みのチャットルームに参加の設定)

5.1 (スピーチ言語) :

ここをクリックすると翻訳元(音声認識)の言語を設定することができます。チャットルームに参加後でも変更可能です。

5.2 (翻訳言語) :

ここをクリックすると翻訳する言語を設定することができます。チャットルームに参加後でも変更可能です。

5.3 (開始) :

チャットルームに参加する場合にクリックします。

6.画面 (チャットルーム)



6.5 をクリックしたときの画面



6.1 (ルームコード: XXXXXXXX) :

参加しているチャットルームのルームコードが表示されます。

ルームコードをクリックするとルームコードをクリップボードにコピーすることができます。このルームコードを会話する相手に渡し、チャットコピー画面の 3.4 に張り付けて [参加] ボタンをクリックすると同じチャットルームに参加できます。

6.2 (スピーチ言語) :

翻訳元(音声認識)の言語を選択することができます。

6.3 (翻訳言語) :

翻訳する言語を選択することができます。

6.4 (翻訳一時停止/再開) :

翻訳を停止、再開する際にクリックします。

- クリック時にマイクの使用許可を求める通知が表示される場合があります。その場合は「許可」をクリックし、マイクを利用可能にしてください。

6.5 (ハンバーガーボタン) :

6.6 以降のメニュー(青い画面部分)を開くことができます。

6.6 (マイク切り替え) :

パソコンに接続されているマイクを変更することができます。

※マイク一覧はチャットルーム入室時に接続されていたデバイスが表示されます。

6.7 (ルームコード:XXXXXXXX) :

チャットルームのルームコードが表示されます。ここをクリックすると ルームコードをクリップボードにコピーすることができます。

6.8 (ダウンロード) :

チャットルームに表示されている発話内容(翻訳内容)を CSV ファイル形式でダウンロードします。

- ファイル名: chathistory_<ルームコード>.csv

※ゲストユーザーとしてチャットルームに参加した場合は、この機能は利用できません。

6.9 (ゲストユーザーの追加) :

チャットルームに外部の方(リアルタイム翻訳ツールのライセンスを持っていない方)をメールで招待し、招待されたゲストユーザーは送付されたメールを元にチャットルームに参加することができますようになります。

※チャットルームにゲストユーザーとして参加させられる人数は最大 5 名までとなります。

※5 名以上を招待しても 5 名までしか参加することができません。

※ゲストユーザーとしてチャットルームに参加した場合は、この機能は利用できません。

6.10 (参加者の表示) :

チャットルームに参加している方の名前 (もしくはゲストユーザーのメールアドレス) が表示されます。

6.11 (Exit) :

ブラウザから退出確認のポップアップメッセージ(退出しますか?)が表示されます。

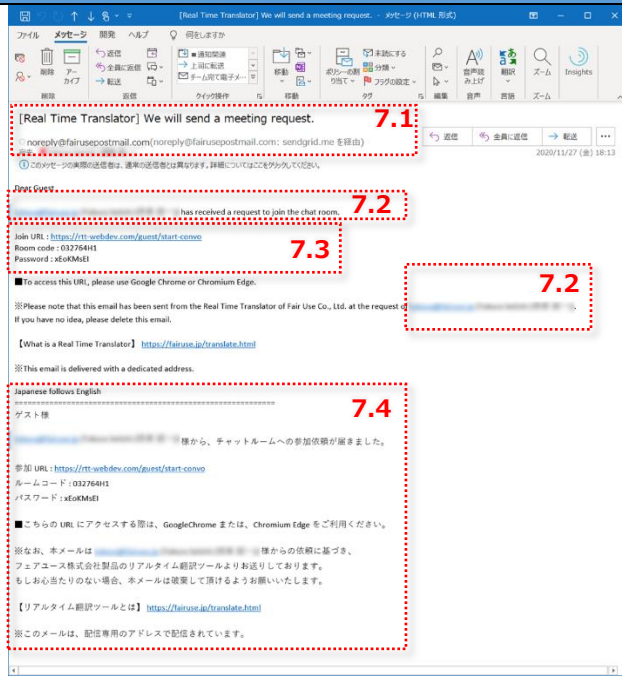
[OK] ボタンをクリックするとチャットルームから退出します。

また、ブラウザの×ボタンでもチャットルームから退出することができます。

6.12 (×) :

6.6 以降のメニュー(青い画面部分)を閉じることができます。

7.画面 (ゲストユーザーへ送付されるメール内容)



説明

6.9、6.10 でリアルタイム翻訳ツールのライセンスを持っていない方を招待した際に相手の方に送付されるメールについての説明をいたします。

7.1 送付元の件名とメールアドレス

送付元の件名、メールアドレスは以下となります。

- 件名: [Real Time Translator] we will send a meeting request.
- 差出人: noreply@fairusepostmail.com

7.2 (ゲストユーザーを招待した方の名前(メールアドレス))

ゲストユーザーを招待した方の Microsoft 職場アカウントの名前とアドレスが表示されます。

7.3 (ゲストユーザーがチャットルームに参加するための情報)

ゲストユーザーがログインするために必要な URL、ルームコード、パスワードが記載されています。

7.4 (招待メールの日本語の文章)

招待メールの上部は英語、下部は日本語で同じ内容が記載されています。

8.画面 (ゲストユーザーの参加)



8.3 をクリックした時の画面



8.6 をクリックした時の画面



説明

8.1 (ルームコード)

招待メールに記載されている Room Code (ルームコード) を貼り付けます。

8.2 (パスワード)

招待メールに記載されている Password (パスワード) を貼り付けます。

8.3 (参加ボタン)

Room Code (ルームコード) と Password (パスワード) を貼り付けたら [参加] ボタンをクリックします。

8.4 (スピーチ言語) :

ここをクリックすると翻訳元(音声認識)の言語を設定することができます。チャットルームに参加後でも変更可能です。

8.5 (翻訳言語) :

ここをクリックすると翻訳する言語を設定することができます。チャットルームに参加後でも変更可能です。

8.6 (開始) :

チャットルームに参加する場合にクリックします。

8.7 (スピーチ言語) :

翻訳元(音声認識)の言語を選択することができます。

8.8 (翻訳言語) :

翻訳する言語を選択することができます。

8.9 (翻訳一時停止/再開) :

翻訳を停止、再開する際にクリックします。

- クリック時にマイクの使用許可を求める通知が表示される場合があります。その場合は「許可」をクリックし、マイクを利用可能にしてください。

8.10 (ハンバーガーボタン) :

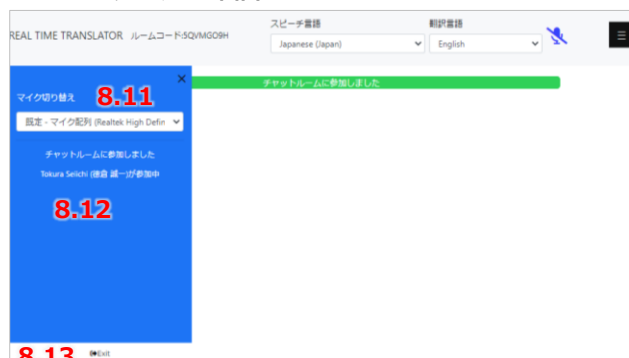
8.11 以降のメニュー(青い画面部分)を開くことができます。

8.11 (マイク切り替え)

パソコンに接続されているマイクを変更することができます。

8.12 (参加者の表示)

8.10 をクリックした時の画面



8.13

自動退出後の画面



チャットルームに参加している方の名前(もしくはゲストユーザーのメールアドレス)が表示され
ます。

8.13 (Exit)

退出確認ポップアップが表示されます。[OK] ボタンをクリックするとチャットルームから退出し
ます。ブラウザの×ボタンでもチャットルームから退出することができます。

8.14

リアルタイム翻訳ツールを契約されている全ユーザーがチャットルームから退出するとゲストユ
ーザーは自動的にチャットルームから退出し、この画面が表示されます。

この画面が表示されましたら、ブラウザを閉じてください。

9. 画面 (履歴)



9.6 をクリックしたときの画面



9.7 をクリックしたときの画面



説明

※履歴をサーバー上に残すご契約をいただいた場合のみ利用可能な機能となります。

9.1 (Search room) :

過去に作成したチャットルーム名などの情報を検索することができます。

※検索キーワード : 会議名、日付、会議に参加したユーザー名

9.2 (チャットルーム一覧) :

過去に作成したチャットルームの一覧が表示されます。

9.3 (ダウンロード) :

右側に表示されている発言内容(翻訳内容)を CSV ファイル形式でダウンロードします。

9.4 (メッセージ検索) :

表示された会話内容の中から検索したい文字を入力すると該当の会話だけが表示されます。

9.5 (吹き出し) :

8.2 に表示されているチャットルーム名をクリックすると右ペインに会話した内容が表示されます。

9.6 :

1 つの会話を削除する場合にクリックします。

9.7 :

1 つの会話の内容を編集したい場合にクリックします。

文字を編集すると再翻訳します。

9.8 (削除) :

翻訳内容を削除したい場合にクリックします。

9.9 (キャンセル) :

削除しない場合にクリックします。

9.10 (テキスト編集画面) :

会話内容を編集することができます。

9.11 (保存) :

編集した内容を再翻訳と保存をする場合にクリックします。

9.12 (キャンセル) :

編集しない場合にクリックします。

リアルタイム翻訳ツールを利用する際のポイント

リアルタイム翻訳ツールは、正しく音声認識されるように話したり、マイクを適切に利用することが重要なポイントとなります。

以下のようなことを意識して話していただくより高い精度で音声認識されるようになります。

- **標準語で話す**

強いなまりや方言は認識率が下がる傾向があるため標準語で話す。

- **正しい文法で話す**

例えば区切って話すことにより文法が正しく解釈され認識精度が高くなり、結果として翻訳精度が上がる傾向があります。

- **はっきり発音する**

例えば、“欲しい(ほしい)”という単語の“ほ”の部分の発音をはっきり発音しないと“ほ”が“お”となり“惜しい(おいしい)”などと認識される可能性があります。

- **「えーつと」、「あー」などは話さない**

- **マイクを適切に使用する**

口や鼻からマイクが近すぎると息が直接かかり雑音が入る場合があります。また、マイクに対して適切な角度や音量で話してください。



FairUSE